

# 平成 24 年度決算のお知らせ

平成 25 年 6 月 26 日  
クレディ・アグリコル生命保険株式会社

クレディ・アグリコル生命（代表取締役兼 CEO ジャン-ポール・ベルトラン）の平成 24 年度（平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日）の決算が確定いたしましたので、お知らせいたします。

## 1. 主要業績

### （1）保有契約高及び新契約高

保有契約高

（単位：件、百万円、%）

区 分	平成 23 年度末				平成 24 年度末			
	件 数		金 額		件 数		金 額	
		前年度末比		前年度末比		前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—
個人年金保険	11,258	138.3	42,636	142.2	11,126	98.8	45,811	107.4
団 体 保 険	—	—	10,582	1,629.1	—	—	55,854	527.8
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資（変額個人年金保険については年金開始前契約の特別勘定の責任準備金および据置期間付年金契約の責任準備金）と、年金支払開始後契約の責任準備金の合計です。

新契約高

（単位：件、百万円、%）

区 分	平成 23 年度						平成 24 年度					
	件 数		金 額				件 数		金 額			
		前年度比	前年度比	新契約	転換による純増加		前年度比	前年度比	新契約	転換による純増加		
個 人 保 険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
個人年金保険	3,385	97.5	13,306	88.0	13,306	—	2,270	67.1	7,573	56.9	7,573	—
団 体 保 険	—	—	10,151	1,554.0	10,151	—	—	—	46,558	458.6	46,558	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）個人年金保険の金額は、年金支払開始時における年金原資（変額個人年金保険については、基本保険金額）です。

## (2) 年換算保険料

保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度末		平成 24 年度末	
		前年度末比		前年度末比
個 人 保 険	—	—	—	—
個 人 年 金 保 険	5,013	184.5	6,042	120.5
合 計	5,013	184.5	6,042	120.5
うち医療保障・ 生前給付保障等	—	—	—	—

新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度		平成 24 年度	
		前年度比		前年度比
個 人 保 険	—	—	—	—
個 人 年 金 保 険	2,406	209.6	2,799	116.3
合 計	2,406	209.6	2,799	116.3
うち医療保障・ 生前給付保障等	—	—	—	—

(注) 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した)金額です。

## (3) 主要収支項目

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度		平成 24 年度	
		前年度比		前年度比
保 険 料 等 収 入	11,021	95.3	7,062	64.1
資 産 運 用 収 益	2,023	436.2	7,366	364.0
保 険 金 等 支 払 金	1,359	68.1	9,820	722.2
資 産 運 用 費 用	16	5.4	8	54.1
経 常 損 失	917	116.9	1,026	111.9

## (4) 総資産

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度末		平成 24 年度末	
		前年度末比		前年度末比
総 資 産	44,166	130.8	47,496	107.5

## 2. 平成 24 年度末保障機能別保有契約高

(単位：件、百万円)

項 目		個 人 保 険		個 人 年 金 保 険		団 体 保 険		合 計	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
死亡保障	普通死亡	—	—	11,126	40,693	2,687	55,854	13,813	96,547
	災害死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の条件付死亡	—	—	—	—	—	—	—	—
生存保障		—	—	11,126	45,811	—	—	11,126	45,811
入院保障	災害入院	—	—	—	—	—	—	—	—
	疾病入院	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の条件付入院	—	—	—	—	—	—	—	—
障害保障		—	—	—	—	—	—	—	—
手術保障		—	—	—	—	—	—	—	—

項 目		団 体 年 金 保 険		財形保険・財形年金保険		合 計	
		件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
生存保障		—	—	—	—	—	—

項 目	医 療 保 障 保 険	
	件 数	金 額
入院保障	—	—

項 目	就 業 不 能 保 障 保 険	
	件 数	金 額
就業不能保障	—	—

(注) 1. 団体保険の件数は被保険者を表します。

2. 生存保障欄の金額は、年金支払前契約の年金支払開始時における年金原資（変額個人年金保険については年金開始前契約の特別勘定の責任準備金および据置期間付年金移行後の責任準備金）と、年金支払開始後契約の責任準備金の合計です。

### 3. 平成 24 年度の一般勘定資産の運用状況

#### (1) 平成 24 年度の資産の運用状況

##### ①運用環境

平成25年3月末の主要指標および前年度末との比較は、以下のとおりです。

日経平均株価	12,397.91 円 (前年度末比 +2,314.35 円)
日本 10 年新発国債利回り	0.560% (前年度末比 △0.425%)
円／米ドル相場	94.05 円 (前年度末比 +11.86 円)
円／ユーロ相場	120.73 円 (前年度末比 +10.93 円)

##### ②当社の運用方針

当社の一般勘定では、流動性および安全性を重視した運用を基本方針とし、預金や公社債を中心とした運用を行っております。

##### ③運用実績の概況

平成 25 年 3 月末の一般勘定資産は、前年度末に比べ 61.0 億円増加し、342.7 億円となりました。

また、平成 24 年度の一般勘定の資産運用収益（純額）は 54.2 億円となりました。

## (2) 資産の構成

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度末		平成 24 年度末	
	金 額	占 率	金 額	占 率
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	1,264	4.5	1,970	5.7
買 現 先 勘 定	—	—	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—	—	—
金 銭 の 信 託	—	—	—	—
有 価 証 券	22,797	80.9	27,405	80.0
公 社 債	451	1.6	150	0.4
株 式	—	—	—	—
外 国 証 券	20,990	74.5	26,851	78.3
公 社 債	20,956	—	26,356	—
株 式 等	34	—	495	—
そ の 他 の 証 券	1,355	4.8	403	1.2
貸 付 金	—	—	—	—
不 動 産	2	0.0	—	—
繰 延 税 金 資 産	—	—	—	—
そ の 他	4,105	14.6	4,899	14.3
貸 倒 引 当 金	—	—	—	—
合 計	28,169	100.0	34,275	100.0
う ち 外 貨 建 資 産	21,087	74.9	28,380	82.8

## (3) 資産の増減

(単位：百万円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
現 預 金・コ ー ル ロ ー ン	△636	705
買 現 先 勘 定	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—
金 銭 の 信 託	—	—
有 価 証 券	10,552	4,608
公 社 債	△0	△301
株 式	—	—
外 国 証 券	10,802	5,861
公 社 債	10,797	5,400
株 式 等	5	460
そ の 他 の 証 券	△249	△951
貸 付 金	—	—
不 動 産	△0	△2
繰 延 税 金 資 産	—	—
そ の 他	53	794
貸 倒 引 当 金	—	—
合 計	9,968	6,105
う ち 外 貨 建 資 産	10,387	7,293

## (4) 資産運用関係収益

(単位：百万円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
利息及び配当金等収入	633	992
預貯金利息	1	2
有価証券利息・配当金	631	989
貸付金利息	—	—
不動産賃貸料	—	—
その他利息配当金	—	—
商品有価証券運用益	—	—
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	553	350
国債等債券売却益	—	—
株式等売却益	0	—
外国証券売却益	553	350
その他	—	—
有価証券償還益	—	—
金融派生商品収益	—	—
為替差益	283	4,095
貸倒引当金戻入額	—	—
その他運用収益	—	—
合 計	1,470	5,438

## (5) 資産運用関係費用

(単位：百万円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
支 払 利 息	0	0
商品有価証券運用損	—	—
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	16	8
国債等債券売却損	—	—
株式等売却損	0	—
外国証券売却損	16	8
その他	—	—
有価証券評価損	—	—
国債等債券評価損	—	—
株式等評価損	—	—
外国証券評価損	—	—
その他	—	—
有価証券償還損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
貸倒引当金繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
賃貸用不動産等減価償却費	—	—
その他運用費用	—	—
合 計	16	8

(6) 資産運用に係わる諸効率

①資産別運用利回り

(単位：%)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
現 預 金 ・ コ ー ル ロ ー ン	0.13	0.18
買 現 先 勘 定	—	—
債 券 貸 借 取 引 支 払 保 証 金	—	—
買 入 金 銭 債 権	—	—
商 品 有 価 証 券	—	—
金 銭 の 信 託	—	—
有 価 証 券	6.81	5.07
う ち 公 社 債	0.37	0.34
う ち 株 式	—	—
う ち 外 国 証 券	7.50	5.37
貸 付 金	—	—
不 動 産	—	—
一 般 勘 定 計	6.51	17.06
う ち 海 外 投 融 資	7.50	5.37

(注) 1. 利回り計算式の分母は帳簿価額ベースの日々平均残高、分子は経常損益中、資産運用収益－資産運用費用として算出した利回りです。

2. 海外投融資とは、外貨建資産と円建資産の合計です。

②売買目的有価証券の評価損益

一般勘定では平成 24 年度末に売買目的有価証券を保有していないため、記載しておりません。

## ③有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	平成 23 年度末					平成 24 年度末				
	帳簿 価額	時 価	差 損 益			帳簿 価額	時 価	差 損 益		
			差 益	差 損	差 益			差 損		
満期保有目的の債券	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
責任準備金対応債券	20,570	21,348	777	836	59	26,169	27,883	1,713	1,726	12
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	2,240	2,226	△14	0	14	1,248	1,235	△13	0	13
公 社 債	451	451	0	0	—	150	150	0	0	—
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	434	419	△14	0	14	695	682	△13	—	13
公 社 債	399	385	△14	0	14	199	186	△13	—	13
株 式 等	34	34	—	—	—	495	495	—	—	—
その他の証券	1,355	1,355	—	—	—	403	403	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	22,811	23,574	763	837	73	27,418	29,119	1,700	1,726	25
公 社 債	451	451	0	0	—	150	150	0	0	—
株 式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外 国 証 券	21,005	21,767	762	836	73	26,865	28,565	1,700	1,726	△25
公 社 債	20,970	21,733	762	836	73	26,369	28,070	1,700	1,726	△25
株 式 等	34	34	—	—	—	495	495	—	—	—
その他の証券	1,355	1,355	—	—	—	403	403	—	—	—
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額については、該当する有価証券を保有していないため、記載しておりません。

## ④金銭の信託の時価情報

一般勘定では平成 24 年度末に金銭の信託を保有していないため、記載しておりません。



#### 4. 貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	平成 23 年度 (平成 24 年 3 月 31 日現在)	平成 24 年度 (平成 25 年 3 月 31 日現在)
	金 額	金 額
( 資 産 の 部 )		
現 金 及 び 預 貯 金	1,718	2,672
預 貯 金	1,718	2,672
有 価 証 券	38,371	39,988
国 債	200	—
地 方 債	251	150
外 国 証 券	20,990	26,851
そ の 他 の 証 券	16,929	12,986
有 形 固 定 資 産	3	0
建 物	2	—
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	1	0
無 形 固 定 資 産	198	127
ソ フ ト ウ ェ ア	198	127
代 理 店 貸 貸	0	—
再 保 険 貸 貸	4	28
そ の 他 資 産	3,869	4,678
未 収 金	119	1,552
前 払 費 用	—	—
未 収 収 益	239	309
預 託 金	54	50
仮 払 金	8	8
保 険 業 法 第 1 1 3 条 繰 延 資 産	3,446	2,757
資産の部合計	44,166	47,496

(単位：百万円、%)

科 目	平成 23 年度 (平成 24 年 3 月 31 日現在)	平成 24 年度 (平成 25 年 3 月 31 日現在)
	金 額	金 額
( 負 債 の 部 )		
保 險 契 約 準 備 金	37,215	40,872
支 払 備 金	54	256
責 任 準 備 金	37,160	40,616
代 理 店 借 債	14	4
再 保 險 借 債	13	25
そ の 他 負 債	253	263
未 払 法 人 税 等	3	3
未 払 金	16	23
未 払 費 用	90	82
預 り 金	7	89
仮 受 金	135	63
退 職 給 付 引 当 金	19	12
価 格 変 動 準 備 金	31	58
繰 延 税 金 負 債	218	186
負債の部合計	37,767	41,422
( 純 資 産 の 部 )		
資 本 金	5,375	5,725
資 本 剰 余 金	4,925	5,275
資 本 準 備 金	4,925	5,275
利 益 剰 余 金	△3,886	△4,913
そ の 他 利 益 剰 余 金	△3,886	△4,913
繰 越 利 益 剰 余 金	△3,886	△4,913
株 主 資 本 合 計	6,413	6,086
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△14	△13
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△14	△13
純資産の部合計	6,399	6,073
負債及び純資産の部合計	44,166	47,496

## 5. 損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	平成 23 年度	平成 24 年度
	金 額	金 額
経常収益	13,056	14,523
保険料等収入	11,021	7,062
再保険料収入	11,015	7,033
再保険収入	5	28
資産運用収益	2,023	7,366
利息及び配当金等収入	633	992
預貯金利息	1	2
有価証券利息・配当金	631	989
有価証券売却益	553	350
為替差益	283	4,095
特別勘定資産運用益	553	1,928
その他経常収益	11	94
年金特約取扱受入金	10	7
退職給付引当金戻入額	0	7
その他の経常収益	0	80
経常費用	13,973	15,550
保険金等支払金	1,359	9,820
再保険料	89	165
解約返戻金	1	3
その他返戻金	1,130	9,487
再保険料	9	12
責任準備金等繰入額	129	150
支払備金繰入額	10,915	3,657
責任準備金繰入額	40	201
資産運用費用	10,874	3,455
支払利息	16	8
有価証券売却損	0	0
事業費	16	8
その他経常費用	1,516	1,253
税金	929	810
減価償却費	78	40
保険業法第113条繰延資産償却費	160	80
その他経常費用	689	689
その他経常費用	0	0
保険業法第113条繰延額	0	0
繰延額	△763	—
経常損失	917	1,026
特別利益	0	—
固定資産等処分益	0	—
特別損失	21	28
固定資産等処分損	—	2
価格変動準備金繰入額	21	26
税引前当期純損失	938	1,055
法人税及び住民税	3	3
法人税等調整額	218	△32
法人税等合計	222	△28
当期純損失	1,160	1,026

6. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成 23 年度	平成 24 年度
基礎利益 A	△1,332	△1,322
キャピタル収益	553	363
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	553	350
金融派生商品収益	—	—
為替差益	283	4,095
その他キャピタル収益	△283	△4,082
キャピタル費用	17	8
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	16	8
有価証券評価損	—	—
金融派生商品費用	—	—
為替差損	—	—
その他キャピタル費用	1	—
キャピタル損益 B	536	354
キャピタル損益含み基礎利益 A + B	△796	△968
臨時収益	—	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	—	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	120	57
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	120	57
個別貸倒引当金繰入額	—	—
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△120	△57
経常損失 A + B + C	917	1,026

7. 株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

科 目	平成 23 年度	平成 24 年度
	金 額	金 額
株主資本		
資本金		
当期首残高	4,875	5,375
当期変動額		
新株の発行	500	350
当期変動額の合計	500	350
当期末残高	5,375	5,725
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	4,425	4,925
当期変動額		
新株の発行	500	350
当期変動額の合計	500	350
当期末残高	4,925	5,275
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	△2,725	△3,886
当期変動額		
当期純利益	△1,160	△1,026
当期変動額合計	△1,160	△1,026
当期末残高	△3,886	△4,913
株主資本合計		
当期首残高	6,574	6,413
当期変動額		
新株の発行	1,000	700
当期純利益	△1,160	△1,026
当期変動額合計	△160	△326
当期末残高	6,413	6,086
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	△2	△14
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11	1
当期変動額合計	△11	1
当期末残高	△14	△13
純資産残高		
当期首残高	6,571	6,399
当期変動額		
新株の発行	1,000	700
当期純利益	△1,160	△1,026
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△11	1
当期変動額合計	△172	△325
当期末残高	6,399	6,073

貸借対照表注記

1. (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 売買目的有価証券

売買目的有価証券については時価法(売却原価の算定は移動平均法)

② 責任準備金対応債券

「保険業における「責任準備金対応債券」に関する当面の会計上及び監査上の取扱い」(日本公認会計士協会業種別監査委員会報告第21号)に基づく責任準備金対応債券については、移動平均法による償却原価法(利息法)

責任準備金対応債券は、流動性ならびに時価変動を管理する観点から通貨別に小区分を設定し、各小区分の資産および負債の将来キャッシュ・フローまたはデュレションを一定のレンジに収めることにより、金利変動リスクをコントロールすることを旨としたマッチング運用を行っております。また、責任準備金対応債券と責任準備金の残高およびデュレションが一定幅の中で一致していることを、定期的に検証しております。

責任準備金対応債券の当期末における貸借対照表計上額は、26,169百万円、時価は27,883百万円であります。

③ その他有価証券

その他有価証券は期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価の算定は移動平均法)によっております。なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

(2) 有形固定資産の減価償却の方法

- ・有形固定資産(リース資産以外) 定率法によっております。
- ・リース資産 該当ありません。

なお、その他の有形固定資産のうち取得価額が10万円以上20万円未満のものについては、3年で均等償却を行っております。

(3) 外貨建資産等の本邦通貨への換算基準

外貨建資産・負債は、決算日の為替相場により円換算しております。

(4) 貸倒引当金の計上方法

貸倒引当金は、資産の自己査定基準および償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、関連部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しており、その査定結果に基づいて引当を行っております。

(5) 退職給付引当金の計上方法

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、退職給付会計に関する実務指針(中間報告)(日本公認会計士協会会計制度委員会報告第13号)に定める簡便法(企業年金制度における直近の年金財政計算上の責任準備金をもって退職給付債務とする方法)により、当期末における退職給付債務及び年金資産の見積額に基づき計上しております。

(6) 価格変動準備金の計上方法

価格変動準備金は、保険業法第115条の規定に基づき算出した額を計上しております。

(7) 消費税等の会計処理方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(8) 保険業法第113条繰延資産の償却額の計算は、定款の規定に基づき行っております。

(9) 責任準備金の積立方法

責任準備金は、保険業法第116条の規定に基づく準備金であり、保険料積立金については次の方式により計算しています。

- ① 標準責任準備金の対象契約については、金融庁長官が定める方式(平成8年大蔵省告示第48号)
- ② 標準責任準備金の対象とならない契約については、平準純保険料式

(10) 無形固定資産の減価償却の方法

- ・ソフトウェア 利用可能期間に基づく定額法によっております。

2. 保険業法第118条第1項に規定する特別勘定以外の勘定である一般勘定の資産運用は、流動性および安全性を重視しております。この方針に基づき、具体的には、預金や公社債を中心に投資しております。なお、主な金融商品として、有価証券は市場リスク及び信用リスクに晒されております。

市場リスクについては、安全性を重視して適切な資産配分を行うことで管理しております。信用リスクについては、国債、地方債等を中心に投資することで管理しております。

特別勘定を含む主な金融資産及び金融負債にかかる貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金及び預貯金	2,672	2,672	-
預貯金	2,672	2,672	-
有価証券	39,988	41,702	1,713
売買目的有価証券	12,582	12,582	-
責任準備金対応債券	26,169	27,883	1,713
その他有価証券	1,235	1,235	-

・ 預貯金の時価は、短期間で決済されるもので、帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

・ 有価証券の時価は、期末日の市場価格等によっております。

3. 有形固定資産の減価償却累計額は 13 百万円であります。
4. 特別勘定資産の額は 13,323 百万円であります。なお、負債の額も同額であります。
5. 関係会社に対する金銭債権の総額は 50 万円、金銭債務の総額は 11 百万円であります。
6. 繰延税金資産の総額は、697 百万円、繰延税金負債の総額は、883 百万円であります。繰延税金資産のうち評価性引当額として控除した額は、1,604 百万円であります。

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳は次のとおりです。

①繰延税金資産

繰越欠損金	2,123 百万円
その他	178 百万円
小計	2,302 百万円
評価性引当額	△1,604 百万円
合計	697 百万円
繰延税金負債との相殺	△697 百万円
繰延税金資産の純額	-

②繰延税金負債

保険業法第 113 条繰延資産	883 百万円
合計	883 百万円
繰延税金資産との相殺	△697 百万円
繰延税金負債の純額	186 百万円

7. 保険業法施行規則第 73 条第 3 項において準用する同規則第 71 条第 1 項に規定する再保険を付した部分に相当する支払備金の金額及び同規則第 71 条第 1 項に規定する再保険を付した部分に相当する責任準備金の金額は該当ありません。
8. 1 株当たりの純資産額は 53,047 円 45 銭であります。
9. 外貨建資産の額は、28,380 百万円であります（主な外貨額 107 百万米ドル、184 百万豪ドル、1 百万ユーロ）。外貨建負債の額は、26,292 百万円であります（主な外貨額 101 百万米ドル、168 百万豪ドル、1 百万ユーロ）。
10. 保険業法第 259 条の規定に基づく生命保険契約者保護機構に対する当年度末における当社の今後の負担見積額は 34 百万円であります。なお、当該負担金は拠出した年度の事業費として処理しております。
11. 退職給付制度として確定給付企業年金制度及び確定拠出年金企業型年金制度を採用しております。
12. 退職給付債務に関する事項は次のとおりであります。

① 退職給付債務及びその内訳

イ 退職給付債務	73 百万円
ロ 年金資産	61 百万円
ハ 未積立退職給付債務（イーロ）	12 百万円
ニ 貸借対照表計上額純額	12 百万円
ホ 前払年金費用	-
ヘ 退職給付引当金	12 百万円

② 退職給付債務等の計算基礎

退職給付に係る会計基準（「退職給付会計に関する実務指針（中間報告）」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第 13 号））に定める簡便法による退職給付債務を用いて退職給付引当金及び退職給付費用を計上しているため、該当ありません。

13. 仮受金 63 百万円は、保険契約承諾前の一時払保険料相当額であります。
14. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書注記

1. 関係会社との取引による費用の総額は、145 百万円であります。
2. 有価証券売却益の内訳は、外国証券 350 百万円であります。
3. 有価証券売却損の内訳は、外国証券 8 百万円であります。
4. 為替差益は、主に責任準備金対応債券のうち外貨建有価証券に係るものであります。これに対応する外貨建責任準備金に係る為替差損は、責任準備金繰入額として計上されております。
5. 支払備金繰入額の計算上、差し引かれた出再支払備金繰入額の金額はありません。また、責任準備金繰入額の計算上、差し引かれた出再責任準備金繰入額の金額はありません。
6. 1株当たりの当期純損失は9,330円32銭であります。なお、潜在株式が無いため、潜在株式調整後1株当たり当期純損失は算出しておりません。
7. 退職給付費用の総額は、30 百万円であります。なお、その内訳は以下のとおりです。  
退職給付引当金戻入額 7 百万円  
その他(確定拠出年金及び確定給付年金の掛金) 37 百万円
8. 関連当事者との取引に関する事項

属性	会社等の名称	議決権の被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(百万円)	科目	期末残高(百万円)
親会社の子会社	クレディ・アグリコル証券	—	システム委託先及び事務所賃借先	運用委託手数料	71	未払費用	5
				賃借物件敷金	—	預託金	50
				賃借物件賃借料	50	—	—
親会社の子会社	アムンディ・ジャパン株式会社	—	投資委託先	投資顧問料	20	未払費用	5
親会社の子会社	クレディ・アグリコルゲイタ株式会社	—	システム委託先	運用委託手数料	3	未払費用	—
親会社	クレディ・アグリコルアシュアランス株式会社	100%	役員の兼任及びシステム委託先	増資の受入	700	—	—
				運用委託手数料	0	未払費用	—

(注) 取引については、通常行われている取引条件に基づき交渉の上決定しております。なお、増資については、1株当たり100,000円で7,000株を株主割当てで発行しております。

9. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書注記

1. 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

(単位：千株)

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
発行済株式				
普通株式	107	7	—	114
合計	107	7	—	114

(注) 普通株式の発行済株式総数の増加7千株は、新株の発行による増加であります。

2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。



## 8. 債務者区分による債権の状況

該当項目がないため、記載していません。

## 9. リスク管理債権の状況

該当項目がないため、記載していません。

## 10. ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項 目	平成 23 年度末	平成 24 年度末
ソルベンシー・マージン総額 ( A )	3,389	3,837
資本金等	2,966	3,329
価格変動準備金	31	58
危険準備金	404	462
一般貸倒引当金	—	—
その他有価証券の評価差額×90%(マイナスの場合100%)	△14	△13
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
持込資本金等	—	—
控除項目	—	—
その他	—	—
リスクの合計額 $\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ ( B )	493	501
保険リスク相当額 R1	1	3
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	—	1
予定利率リスク相当額 R2	1	1
資産運用リスク相当額 R3	296	356
最低保証リスク相当額 R7	181	128
経営管理リスク相当額 R4	14	14
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,373.5%	1,530.3%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条及び、第190条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。なお、
- 「最低保証リスク相当額」は、標準的方式にて算出しております。
  - 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額」は平成23年金融庁告示第25号第1条第1項第1号に規定する額を記載しております。
  - 「全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段のうち、マージンに算入されない額」は平成23年金融庁告示第25号第1条第1項第3号に規定する額を記載しております。

## 11. 平成 24 年度特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成 23 年度末		平成 24 年度末	
	金 額		金 額	
個人変額保険	—		—	
個人変額年金保険	16,046		13,323	
団体年金保険	—		—	
特別勘定計	16,046		13,323	

### (2) 個人変額年金保険（特別勘定）の状況

#### ①保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成 23 年度末		平成 24 年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
個人変額年金保険	4,941	16,002	3,684	13,234

#### ②年度末個人変額年金保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度末		平成 24 年度末	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
現預金・コールローン	454	2.8	702	5.3
有 価 証 券	15,573	97.1	12,582	94.4
公 社 債	—	—	—	—
株 式	—	—	—	—
外 国 証 券	—	—	—	—
公 社 債	—	—	—	—
株 式 等	—	—	—	—
そ の 他 の 証 券	15,573	97.1	12,582	94.4
貸 付 金	—	—	—	—
そ の 他	18	0.1	38	0.3
貸 倒 引 当 金	—	—	—	—
合 計	16,046	100.0	13,323	100.0

## ③個人変額年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	平成 23 年度	平成 24 年度
	金 額	金 額
利息配当金等収入	530	1,053
有価証券売却益	—	—
有価証券償還益	—	—
有価証券評価益	1,168	1,601
為替差益	—	—
金融派生商品収益	—	—
その他の収益	—	—
有価証券売却損	137	52
有価証券償還損	—	—
有価証券評価損	1,006	674
為替差損	—	—
金融派生商品費用	—	—
その他の費用	—	—
収支差額	553	1,928

## 12. 保険会社及びその子会社等の状況

該当項目がないため、記載していません。